

# き ず な

北九州市立折尾西小学校  
校長 二宮 利之  
児童数 529名



## 実り多き第2学期、子どもたちの頑張りに拍手を…。

12月、いよいよ2学期のまとめの月になりました。長かったこの2学期を振り返ってみると、比較的安定した気候のもと、修学旅行や自然教室、社会見学や校区探検、スポーツの大会等、校外行事が続きました。そして、音楽会、児童画展に向けての作品制作。まさに「スポーツ・芸術の秋」でした。子どもたちが一人一人の持ち味を大きく伸ばした実り多き季節だったと実感します。これらの取組を通じた成果・課題を子どもたちに自覚させるためにも、成長した点を的確に温かく、褒め価値付ける時期にしたいと思います。

### 【12月学校行事予定】

- 1日(火) 登校指導 球技大会5年
- 3日(木) 委員会・クラブ活動反省 PTA理事会
- 7日(月) 校納金振替日
- 7日(月)～9日(水) 折尾西小・人権週間
- 9日(水) フッ素塗布2・3年希望者
- 16日(水) 校納金再振替日
- 17日(木) 18日(金) 個人懇談会
- 22日(火) 給食終了 大掃除
- 23日(水) @天皇誕生日
- 24日(木) 終業式
- 25日(木)～1月7日(木) 冬季休業日
- <1月始めの行事予定>
  - 8日(金) 3学期始業式
  - 12日(月) 給食開始

## ★ 学校大好きオンリーワン事業」公開授業研究会 ★

11月26日(木)北九州市教育委員会委嘱「学校大好きオンリーワン事業(国語科)」公開授業研究会を開催しました。文部科学省教科調査官、北九州市教育長をはじめ、北九州市内外から180名程の先生方が参加され、本校の子どもたちの国語科の学習の様子を見ていただきました。子どもたちの「書く力」の高まり、掲示物等校内環境の素晴らしさを褒めていただきました。今後も国語科を中心に、「書く力」、「考え、判断する力」を鍛え、学力のさらなる向上を目指して授業を進めていきたいと思ひます。



【4年3組授業の一コマ】



【2年2組授業の一コマ】



【6年1組授業の一コマ】



【5年3組授業の一コマ】

### 【本校が「書くこと」の学習に力を入れ、子どもたちに付けたい力は…】

#### ① 「よく考える」「深く考える」という態度・能力が育成される。

「書くことは考えることだ」と多くの識者が述べています。「書くこと」の指導は、常に児童を思考する状況に置くことができます。「よく考える」「深く考える」という態度・能力の育成で意義があります。

#### ② 論理的思考力が鍛えられる。

「書くこと」の学習では、「考えたことと、それを支え、裏付ける根拠や理由を結び付ける」「調べたことなどの事実と事実、事柄と事柄を関係付ける」「モデルやサンプルを参考に、自分のすることに当てはめながら具体的に考える」などという思考を盛んに行います。また、その一つ一つの場面で、それらの筋が通っているかを考える活動を、学年に応じて行います。これは、論理的思考の中核であり、今、求められている力を育てる意義のある活動と考えています。

#### ③ ひとつの文章を仕上げるまでに、様々な書く活動が経験できる。

書く過程に、「視て写す」「まねて書く」「メモをする」「聴いて書く」「書き広げる」「書き換える」「書きまとめる」などの活動が、教師の様々な配慮がなされた上で組み込まれています。様々な機能を持った書く活動が散りばめられることで、児童の「書く力」を鍛える価値ある学習活動となっています。

このように、児童に「書くこと」に意欲的に取り組ませること(=教師が、「書くこと」の場を適切に仕組み、丁寧な指導を行うこと)は、「主題力・取材力・構成力・記述力・推敲力など」「書字力・語彙力・語句力・表記力・文法力・文章構成力など」という目に見えやすい「書く力」とともに、「思考力・判断力・観察力・知覚力・感受性・表象力など」という目には見えにくい、ねうちのある「認識諸能力」を鍛える意義が大きいと考えています。

参加された方のアンケートに次のようなメッセージをいただきました。  
「授業での子どもたちの素晴らしい姿勢や、寒く、雨が降る中、駐車場や校内の案内をする保護者・スクールヘルパーの方々には頭が下がります。折尾西小が、地域から信頼されていることを実感しました。」  
会の円滑な進行を支え、ご協力いただいた方々に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。